第3章 水資源調查

3.1 水資源調査の方法

水資源調査は、図 3-1-1 に示す流れで実施した。本章においては既存資料の収集・整理結果から 水資源ポテンシャル評価までについて記し、地下水シミュレーション(予測解析)については「第 8章 三次元地下水モデルによる予測」に記す。



図 3-1-1 水資源調査の流れ

3.2 既存資料の収集・整理・解析

3.2.1 収集既存資料

本プロジェクトにおいて収集・整理・解析した主要なデータ・既存報告書等の項目は、以下に示 すとおりである。具体的な資料名は、サポーティングブック(第5.1節)に掲載する。

- 地形、測量(標高データを含む)
- 地質図、地質構造図、水理地質図、鉱山地質図
- 地質、水理地質、地下水に関連する報告書(井戸掘削、モデリング、水質を含む)
- · 物理探查
- ・ GIS/データベース
- · 気象(日降水量、月平均気温)
- · 河川流量

3.2.2 地形解析

SRTM-90の数値標高データを基にして、調査対象地域の陰陽図(図 3-2-1、ピンク:花崗岩分布域、朱:カンブリア紀堆積岩・変成岩分布域)および地形断面図(図 3-2-2)を作成することにより、対象地域の広域的な地形特性を把握した。



図 3-2-1 調査地域の陰陽図



(断面線位置は図 3-2-1 に示す)

図 3-2-2 地形断面図

これらの図面より本プロジェクト地域の地形特性として、以下のことがあげられる。

- ・ ギニア国境付近の急峻な崖の存在
- 玄武岩類分布域等の丘陵の存在
- ・ 南東方向から北西方向に向かう緩やかな傾斜
- ・ 上記の傾斜中に存在する低地の北西側が急で南東側が緩やかな傾向
- ・ セネガル河西岸の高まりと南西方向に向かう緩やかな傾斜

3.2.3 地質·水理地質解析

(1) 地質·水理地質概要

現在、「セ」国の地下水資源を説明する上で基本となっている調査は、DGPRE(実施コンサル タント: COWI)が 2001 年にまとめた調査報告書であり、以下の内容を含んでいる。

- マーストリヒチアン層を中心とした「セ」国全体の水理地質状況のとりまとめと水理地質 層序の確立
- GPS 測量による井戸位置の把握と地下水位観測
- 上記結果をもとにしたモデリングと地下水ポテンシャル解析

表 3-2-1 に、上記の調査で確立された水理地質層序を示す。また、本プロジェットで編集した地 質図を図 3-2-3 に示す。帯水層としては、下位より①Maastrichtien 帯水層(マーストリヒチアン帯 水層、以下 Ma 層)、②Paléocène 帯水層(暁新統帯水層、以下 Pa 層)、③Eocene 帯水層(始新統 帯水層、以下 Eo 層)、④Continental terminal / Oligo-Miocène 帯水層(コンチネンタルターミナル/漸 ー中新統帯水層、以下 Co 層)、⑤Quaternaire 帯水層(第四系帯水層、以下 Q 層)、と5 層の区分が 可能である。以下に、これらの帯水層と基盤岩類の概要を記す。

1) 基盤岩類

本プロジェクト地域南部の基盤岩地域に分布する主要な岩石は、玄武岩類(玄武岩、ドレライト(粗粒玄武岩)、スピライトなど)、炭酸塩岩類(石灰岩、泥灰岩など)、花崗岩類(花崗岩、アプライトなど)、片岩類(緑色片岩、雲母片岩、角閃岩など)、珪岩類、砂質岩(砂岩、珪質片岩、グレイワッケなど)、等である。また、岩脈類として、ペグマタイトや石英脈等が、上記の岩石中に貫入している。

基盤岩地域の既存井戸は、①玄武岩類分布域、②断層周辺、③岩脈類分布域、④地層境界、等 の破砕部にスクリーンを有するものが多い。

2) Maastrichtien 帯水層(Ma 層)

上部白亜系である Ma 層は、本プロジェクト地域に広く分布して、西側に向かい基底面深度が 深くなる。本層は、砂岩、砂層、泥質砂層などの海成堆積物からなり、最下位に黒色粘土層が分 布すると考えられている。また、上位の Pa 層との境界部にも黒色粘土層が分布することが多い。

概略の特徴として、マタム州では本層が主要な帯水層となり、タンバクンダ州では本層の分布 深度が深いため上位の Co 層からの取水が不十分な地域・地点で本層までの開発が行われている。

3) Paléocène 帯水層(Pa 層)

暁新統である Pa 層は、白亜紀後の海進期の堆積物であり、炭酸塩岩類を主体とする。泥灰質な 部分も広く分布して、泥質な層の透水性は低い。

良好な帯水層とは言えないため、本プロジェクト地域においては、本層にスクリーンを設置し ている井戸は数井しかない。

EDE		PERIODE	E GEO	LOGIAUE	pement ati	Zond Nord	đ	ème fère	Zond Suc	1
ERE	Syst.	Série		Etage	Regrou] Str	Lithologie dominante	Aqui	Syst Aqui	Lithologie dominante	Aqui
		QUATE	RNAII	RE	érieur	Sables éoliens alluvions tufs volcaniques	Aauifère	minal"	Sables marins et éoliens	Aauifère
	NE	PLIOCENE			le sup	Sables coquilliers sables +/- argileux	Aquitard	xe Ter	Sables ou grès argileux et argiles	Aauitard
	EOGE	MIOCENE		CONTINENTAL TERMINAM"	nsemb	Marno calcaire	Aquitard	omple	Sables avec bancs	Aauifère
	N	OLIGOCENE			Е	Marnes et agiles	Aquitard	"C	d'argile et calcaires	
AIRE			oy	LUTETIEN SUP.	ire	Calcaires marno-calcaires	Aquiclude	lu	Calcaires karstifiés	Aauifère
ERTL	ENE	EOCENE	E	LUTETIEN INF.	média	Sables	Aauifère	uifère (ne"	Marno calcaires	Aauitard
H	1903		inf	YPRESIEN	inter	Marnes et agiles	Aquiclude	Aqu ogèr	passes sable	
	PALE	HTH PALEOCENE		PALEOCENE sup. à moyen	semble	Marno-calcaires calcaires karstifiés marnes	Aauifère	système Palé	Sables calcaires coauilliers ou karstifiés	Aauifère
				DANIEN	En	Marno calcaires	Aquitard	5.	Marno calcaires argiles	Aauitard
		CDETACES	NIEN	MAASTRICHITIEN	tace sup.	Sables grès, sables gréseux sables argileux	Aauifère	strichtien"	Sableux avec passées d'argile	Aauifère
		CRETACES Supérieur	SENO	CAMPANIEN	le Cré	Grès Sables argileux	Aauifère	e Maas	Sables argileux	Aauifère
			•1	SENONIEN INF	Insemt	Sables argileux et argiles sableuses	Aquitard	ystème	Argile sableuse	Aauitard
	CE			TURONIEN	Ë	Argiles noires	Aquiclude	S.	Argiles noires	Aquiclude
IRE	RETQ	ETQC	CENOMANIEN CES ALBIEN			Calcaires argiles sableuses	-		Marno calcaire	
CONDA	CI	CRETACES moyen				Calcaire, marno calcaire sables argileux			Marno-calcaires, argiles sableuses	Aquiclude
SE				APTIEN		Calcaire, marno calcaire argiles sableuses	Aquiclude		Marno-calcaires, argiles sableuses	
		inférieur		NEOCOMIEN	nsem	Calcaira dolomitique				
		JUI	RASSI	QUE	н	Calcaires, calcaires dolomitiques	Aquiclude		Calcaires et bancs de dolomie	Aquiclude
			TRIAS	5	1	Counche salifère	Aquiclude		Counche salifère	Aquiclude
	PRIMAIRE			ocle-	Argiles siliceuses grès quarizites conglomérats	Aquiclude		Argiles siliceuses grès quarizites conglomérats	Aquiclude	
		SOCLE CF	RISTAI	LLIN	-S.	Granites, diorites, métamorphiq	, roches ues	Aquife	ère dans les zones sup fracturées et arénise	erificielles ées

表 3-2-1 「セ」国の水理地質層序

(出典: COWI (September 2001)、帯水層・半透水層・難透水層の色区分は本件調査)





(拡大した凡例を次頁に示す)

	Legend		
Ô	Main_Cities (town) Main Roads		
Qa	Quarternary recent alluvia		
Qc	Quarternary clayey sediments		
Qd	Quarternary red dunes		
Qf	Quarternary flood banks		
Qfs	Quarternary very fine sand		
QI	Quarternary limistone		
Qli	Quarternarry recent laterites or iron pan		
Qls	Quarternary lawer part, very clayey soil		
Qs	Quarternary sand		
Qsc	Quarternary sandy clay		
CT	Continetal Terminal	Cmq	Cambrian quartzites
Q_E	Quarternary - Eocene, marl limistone	Cmqr	Cambrian quartz rock
Eaf	Eocene clay ans fine sand	Cmqs	Cambrian quartzous and sandstone
Ecs	Eocene conglomerate or sandstone	Cmrd	Cambrian rhyolite and delienites
Lds	Limistone, dolomite, shade	Cms	Cambrian sandstone
FQ	Quartz vien	Cmt	Cambrian tuff
Cma	Cambrain Andesite	Cmta	Cambrian tuff and agglomerates
Cmc	Cambrian cipolins	Cmwt	Cambrian talus
Cmd	Cambrian diabase	Pca	Precambrian amphibolites
Cmg	Cambrian granite	Pmv	Precambrian metamophosed volcanic rock
Cmge	Cambrian schist with epidote	Pmvb	Precambrian metamophosed volcanic rock with basalt
Cmma	Cambrian microgranite, aplite	Pp	Precambrian polites
Cmmr	Cambrian microgranite, aplite, rhyolite	Ps	Precambrian schists
Cmms	Cambrian metamorphiqu schistes	Ptr	Precambrian tuff and radiolarites

4) Eocene 带水層(Eo 層)

Eo 層は、Pa 層に続く始新世の海進期の堆積物と考えられており、本プロジェクト地域の北東部 に露岩する。泥灰岩(土)や泥質層が卓越して、一部、石灰岩や石灰岩質砂層を挾在する。

この石灰岩や石灰岩質砂層が本層の帯水層となり、タンバクンダ州の中心部やマタム州の本層 露出域に本層にスクリーンが設置された井戸が分布するが、宙水的な性格も持つため地下水開発 のための主要な帯水層とはなり難い。

5) Continental terminal / Oligo-Miocène 帯水層 (Co 層)

本層は、一般に Continental terminal 層と呼称されるが、Oligo-Miocène 層と称されることもある。 本層は泥質砂層から細粒砂層を主体として、石灰質な部分も挾在する。

本層は、タンバクンダ州南部に厚く分布しており、そこでは Ma 層の分布深度が深いこともあり、 主要な帯水層として開発されている。一方、マタム州(特に東部地域)では本層が薄く、地下水 開発のための帯水層としては適さない。

6) Quaternaire 帯水層(Q層)

本層は、貝殻を含む海成炭酸塩層や沖積堆積物、湖成堆積物、風性堆積物などから成る。本プロジェクト地域においては、セネガル川沿いの沖積層での地下水開発が一つの課題となっている。

(2) 水理地質構造

1) 地質断面図の作成

個々の井戸の掘削記録は、地質柱状図として整理するとともに(データブック参照)、以下のようにそれらを並べた断面図(図 3-2-4~図 3-2-8)を作成して水理地質構造の検討の基礎資料とした。

2) 帯水層の層厚分布および基底面深度分布

堆積層地域・基盤岩地域の両地域で約400本の井戸柱状図を整理した。特に堆積層地域の柱状 図は層相に基づいて1本毎に帯水層境界を検討した後に、次頁以降のような層厚分布図(図3-2-9) と基底面深度分布図(図3-2-10)を作成して、シミュレーションモデルの入力データとするとと もに、M/Pの新規井戸の取水層検討の際の基礎資料とした。なお、全ての帯水層の層厚分布図と 基底面深度分布図は、サポーティングブック(第6.3.1節)に掲載する。

3) 水理地質構造特性

本プロジェクト地域の水理地質構造の特徴として、以下の事が挙げられる。

- 基底面深度分布:基盤岩との境界付近で急激に深くなり、西方に向かって分布深度が深くなる。また、タンバクンダから西方地域では、緩やかな谷状の形態を有している。
- ② Ma層分布深度:タンバクンダ東方から州南西部にかけて本層の分布深度が深くなる。特に東 側は南北方向の境界で分布深度が急激に変化している。この境界の延長線上では、ガンビア川 の流向が北から南になっており、下流側と直角に流向が変化している。断層や撓曲等の何らか の地質構造分布を示唆するものと考えられるが、本調査では詳細は明らかになっておらず、今 後の調査が期待されている。
- ③ マタム州東部からグドィリ北方の地域:この地域は②で記した境界の東側に位置して、Co層、 Eo層、Pa層のいずれも層厚が薄い。これらの帯水層を対象とした地下水開発は難しく、Ma層 のみが帯水層となる地域である。



図 3-2-4 地質断面図(1)



図 3-2-5 地質断面図(2)







図 3-2-7 地質断面図(4)



図 3-2-8 地質断面図(5)















3.2.4 地下水位および地下水流動

(1) 地下水位変動(DGPRE モニタリングデータの収集と整理)

1) 調査目的および調査方法

DGPRE は、1986 年から 1994 年にかけて、また、2004 年・2006 年・2007 年に雨期の前後を対象にして地下水位の観測を実施している。その対象地点(17 地点、表 3-2-2 参照)・観測頻度(年2回程度(乾季から雨季への移行期と雨季から乾季への移行期)、また、1986 年-1994 年、1998 年-1999 年、2001 年-2007 年に観測が実施されているが、全ての観測地点で観測されているわけではない、図 3-2-11 参照)は多いものではないが、本件調査地域内の地下水位観測記録は、掘削時の地下水位観測記録と「Etude hydrogéologique de la nappe profonde du Maastirichtien, Sénégal Rapport No.8, Rapport final (COWI, 2002)」中に収められている 1999 年の観測記録しかないため、同一地点の地下水位の変化を把握する上で、上記のデータは貴重である。

本項調査では、調査地点および地下水位の変動の取りまとめを行った。

2) 調査結果

DGPRE のモニタリング井の位置を図 3-2-11 に、井戸の諸元を表 3-2-2 にとりまとめる。また、 各モニタリング井の地下水位の変動の状況を図 3-2-12 にまとめる。取りまとめ結果は、地下水流 動シミュレーションを実施する際の検証データとして活用した。



		衣 3-2-2	DGPRE *	ビーグリング	ノ井珀儿			
No_IRH	村落	経度(°)	緯度(°)	UTM (X)	UTM (Y)	帯水層	井戸の タイプ*	基準点標高 (m) **
20-1X-0001	BANTANANI	-12,9750	13,7222	718 982	1 517 922	Ma 層	ボアホール	56,88
13-2X-0002	BELEL TOUFFLE	-14,5347	14,8856	550 050	1 645 725	Ma 層	ボアホール	23,19
15-7X-0001	BOYNGUEL BAMBA	-12,9400	14,0942	722 413	1 559 118	Ma 層	観測井	52,07
09-7X-0016	DIALLOUBE DIAMOUNGUEL	-12,9250	15,1111	723 005	1 671 667	Ma 層	ボアホール	54,42
18-6X-0007	FADIACOUNDA	-14,1611	13,6269	590 741	1 506 620	Co 層	ボアホール	10,30
08-6X-0011	KANEL F4	-13,1811	15,4883	695 123	1 713 163	Ma 層	観測井	(25,62)
14-1X-0002	KARE KABI	-13,8861	14,7514	619 896	1 631 127	Ma 層	ボアホール	53,46
13-1X-0005	KHOUMOUK	-14,8075	14,9917	520 696	1 657 417	Ma 層	複合井戸	(49,48)
18-2X-0009	KOUNDIAO SOUARE	-14,5167	13,8000	552 237	1 525 660	Ma 層	複合井戸	31,79
19-2X-0002	MAYEL DIBI	-13,6431	13,8861	646 617	1 535 546	Co 層	ボアホール	21,37
08-8X-0001	NAMARY	-13,6456	15,0822	645 564	1 667 865	Ma 層	複合井戸	39,62
18-5X-0004	PAKEBA	-14,3625	13,5556	568 976	1 498 669	Co 層	ボアホール	15,74
08-7X-0001	RANEROU	-13,9569	15,3042	611 986	1 692 241	Ma 層	ボアホール	(40,74)
14-8X-0001	SINTHIOU BOCAR ALI	-13,5681	14,2319	654 490	1 573 848	Ma 層	ボアホール	42,01
15-7X-0002	FETE NIEBE	-12,6800	14,2200	750 359	1 573 303	_	_	(71,59)
19-4X-0006	SOUROUYEL SALIF	-13,8600	13,5900	623 332	1 502 671	Co 層	観測井	(32,03)
14-7X-0002	TINKOLY MANDINGUE	-13,9500	14,0400	613 376	1 552 402	Co 層	-	(26,91)

表 **3-2-2** DGPRE モニタリング井諸元

*: 複合井戸は上部が手掘り井戸で下部がボアホールになっている構造の井戸を示す。

**: 基準点標高の()は、SRTM-3から推計した標高を記す。

(2) 地下水位分布

本プロジェクト地域には一斉測水に類する観測記録がない。また、現在、稼働中の井戸には縦 軸ポンプが設置されている井戸も多く、新たに一斉測水を実施するのも難しい状況である。

このため、掘削時の静水位データを基に後述するシミュレーション解析の開始時(内挿検定の 前)に長期非定常計算(準定常計算)を行い、地下水位分布を把握した(図 3-2-13)。この結果は、 地下水シミュレーションの初期水位として入力した。なお、全ての帯水層の計算地下水位分布図 は、サポーティングブック(第 6.3.1 節)に掲載する。



図 3-2-12 DGPRE モニタリング井の地下水位変動

3-16



(3) 地下水流動

「セ」国では、DGPRE、SONES、ダカール大学等により地下水ポテンシャルに関連する調査が 実施されてきているが、前記したように、現在、「セ」国の地下水資源を説明する上で基本となっ ている調査は、DGPRE(実施コンサルタント:COWI)が1994年から2000年にかけて調査を行な い2001年にまとめたMa層を主体とした全国的な地下水ポテンシャル調査である。また、その成果 は、GISソフトウェア(WinGeo)を用いて図化され、Ma層の層厚分布図、地下水位分布図、透水 量係数分布図、水質濃度分布図等の貴重なデータを提供した。なお、Ma層の透水量係数分布図に は、「Synthèse des propriés de réservior, des électro-faciès et des faciès sédimentologique de l'aquifère maastrichtien: Etablissement d'un outil d'éauivalence (DOUMOUYA, 1988)」、「Contribution à l'étude de la nappe maastrichtien du bassin sédimentaire sénégalais: géométrie de l'aquifère, synthése des paramètres hydrodynamique et hydrochimique (DIOUF, 1994)」なども公表されている。また、DGPRE (2001) では、Ma層だけでなく他の帯水層の解析も実施しており、Pa層やCo層の透水量係数分布図も作成 されている。

その他、DGPRE (2001)の貴重な成果は、Ma層の地下水流動方向を明らかにして、河川からの 地下水かん養の可能性や内陸部での地下水の湧出を提言したことであり(図3-2-14)、過去の単純 な山地(基盤岩分布域)から海への地下水の流れという概念(例えば、「d'après piézométrique établie par Audibert en 1971」)を覆すものであった。



図 3-2-14 Ma 層の地下水流向

3.2.5 水質

(1) 主要イオン

DGPRE が保有する水質分析結果を用いて、主要イオンを成分系としてあらわすトリリニアダイ ヤグラムを作成した(図 3-2-15)。

本プロジェクト地域の地下水質の特徴として、以下のことがあげられる。

• Co層:アルカリ土類炭酸塩に分類される水質に属するものが多い。これは、河川水・浅層地 下水に多い種類である。

・ Ma層: アルカリ土類非炭酸塩とアルカリ土類炭酸塩に分類されるものが多い。前者は温泉水 に多く、後者は上記したように河川水・浅層地下水に多い種類である。

・ 基盤岩類:アルカリ土類炭酸塩とアルカリ炭酸塩に分類されるものが多い。前者は上記した ように河川水・浅層地下水に多く、後者は深層地下水に多い種類である。



図 3-2-15 地下水のトリリニアダイヤグラム

(2) 水銀

水銀を利用する伝統的な手法で金の精錬を行っている村落の浅井戸・深井戸を対象に汚染調査 を行った。8 村落の22 サンプルで、いずれも飲用の対象になっている。水銀濃度の測定について は、ダカールの検査機関(ITA: Institut de Technologie Alimentaire)に依頼した。

結果は表 3-2-3 で、最大でも 0.2 µ g/L で WHO の基準値 6µg/L (無機水銀) 以下となっていて、 緊急な対策をとるレベルにはない。

	No	Village	CR	サンプル採取水源	水源	Hg (µg/L)
1	KH-1	Khossanto	Khossanto	Bobosori Shisoho	浅井戸	0,1
2	KH-2	Khossanto	Khossanto	Karamba Jabi	浅井戸	0,1
3	KH-3	Khossanto	Khossanto	Tamanate	浅井戸	0,2
4	KH-4	Khossanto	Khossanto	Niamakonjira	浅井戸	0,1
5	SA-1	Sabodala	Khossanto	Puits-village-marigo	浅井戸	0
6	SA-2	Sabodala	Khossanto	tap-forage	深井戸	0,1
7	TB-1	Tinkoto Ba	Tomboronkoto	Daba soulayman	浅井戸	0,1
8	TB-2	Tinkoto Ba	Tomboronkoto	Unisef	深井戸	0,1
9	TB-3	Tinkoto Ba	Tomboronkoto	CV Bambo Sisoho	浅井戸	0,1
10	TB-4	Tinkoto Ba	Tomboronkoto	Marigo	浅井戸	0,1
11	TB-5	Tinkoto Ba	Tomboronkoto	Marche	浅井戸	0,1
12	TB-6	Tinkoto Ba	Tomboronkoto	Mamadou Dafa	浅井戸	0,1
13	NG-1	Ngari	Tomboronkoto	pluie	天水だめ	0,1
14	NG-2	Ngari	Tomboronkoto	Puits-village	浅井戸	0,1
15	NG-3	Ngari	Tomboronkoto	UEMOA	深井戸	0,2
16	TD-1	Tinkoto Ding	Tomboronkoto	puits-village	浅井戸	0,1
17	TD-2	Tinkoto Ding	Tomboronkoto	UEMOA	深井戸	0,1
18	BA-1	Bantako	Tomboronkoto	UEMOA	深井戸	0,1
19	BA-2	Bantako	Tomboronkoto	SAUDI	深井戸	0,1
20	TO-1	Tomboronkoto	Tomboronkoto	Forage	深井戸	0,1
21	TO-2	Tomboronkoto	Tomboronkoto	UNICEF	深井戸	0,1
22	MA-1	Mako	Tomboronkoto	Fleuve	ガンビア川	0,1

表 3-2-3 水銀測定結果

3.2.6 気象データ解析

(1) 雨量データ

1) 気象観測所

下表(表 3-2-4)に示す気象観測所の日雨量データを用いて、第 3.4 節に記す水収支計算および 地下水かん養量の推計のためのタンクモデル計算の基礎資料を作成した。

観測所名	国	緯度 (°)	経度 (°)	UTM (X)	UTM (Y)	標高 (m)
Matam	セネガル	15,650	-13,250	687 583	1 730 994	17
Semme	セネガル	15,200	-12,950	720 225	1 681 480	40
Ranérou	セネガル	15,300	-13,966	611 011	1 691 772	33
Bakel	セネガル	14,900	-12,400	779 733	1 648 898	25
Kidira	セネガル	14,300	-12,100	812 881	1 582 862	35
Goudiri	セネガル	14,183	-12,716	746 512	1 569 203	59
Tambacunda	セネガル	13,767	-13,683	642 377	1 522 347	50
Kédougou	セネガル	12,567	-12,217	802 415	1 390 852	167
Linguere	セネガル	15,383	-15,177	487 444	1 700 692	21
Dialakoto	セネガル	13,317	-13,300	684 138	1 472 821	50
Kenieba	マリ	12,850	-11,233	909 010	1 423 541	132

表 3-2-4 ティーセン分割に使用した気象観測所の諸元

雨量の地域分布は、下図(図 3-2-16)に示すティーセン分割により区分した。



図 3-2-16 ティーセン分割結果

2) 確率雨量

第 3.4 節に記すシミュレーションによる予測計算を実施する際に、渇水年や豊水年の発生を含んだシナリオを作成するための基礎資料を得ることを目的に、確率雨量計算を行い、解析地域の 特性を把握した。

計算方法の詳細はサポーティングブック(第5.6節)に記すが、表 3-2-5 に示す観測所の年雨量 データを用いて、岩井法、石原・高瀬法、ガンベル法、トーマス法、ヘイゼン法で確率雨量の計 算を行った。個々の観測所の計算結果はサポーティングブック(第5.6節)に示すが、トーマス 法を用いた渇水年と豊水年の10年確率、30年確率、50年確率、100年確率の年間雨量分布を図 3-2-17および図 3-2-18 に示す。

豊水年の確率では、以下の降雨が推定される。

- ・10 年確率では、マタム州で 600~750mm/年、タンバクンダ・ケドゥグ州で 750~1 550mm/年
- ・30 年確率では、マタム州で 750~850mm/年、タンバクンダ・ケドゥグ州で 850~1 700mm/年
- ・50 年確率では、マタム州で 800~950mm/年、タンバクンダ・ケドゥグ州で 950~1 800mm/年
- ・100 年確率では、マタム州で 850~950mm/年、タンバクンダ・ケドゥグ州で 950~1 900mm/年 一方、渇水年の確率では、以下の降雨が推定される。
- ・10 年確率では、マタム州で 250~400mm/年、タンバクンダ・ケドゥグ州で 400~950mm/年
- ・30 年確率では、マタム州で 200~350mm/年、タンバクンダ・ケドゥグ州で 350~850mm/年
- ・50 年確率では、マタム州で 200~300mm/年、タンバクンダ・ケドゥグ州で 300~800mm/年
- ・100 年確率では、マタム州で 200~300mm/年、タンバクンダ・ケドゥグ州で 300~800mm/年

観測所名	玉	緯度(°)	経度 (°)	UTM (X)	UTM (Y)	標高 (m)
Linguere	セネガル	15,383	-15,177	487 444	1 700 692	21
Dahra	セネガル	15,200	-15,300	467 778	1 680 469	39
Matam	セネガル	15,650	-13,250	687 583	1 730 994	17
Bakel	セネガル	14,900	-12,400	779 733	1 648 898	25
Kaffrine	セネガル	14,200	-15,200	478 421	1 569 855	11
Tambacounda	セネガル	13,767	-13,683	642 377	1 522 347	50
Dialakoto	セネガル	13,317	-13,300	684 138	1 472 821	50
Kidira	セネガル	14,300	-12,100	812 881	1 582 862	35
Koungheul	セネガル	13,600	-14,5	554 088	1 503 545	11
Vwlingara	トウボコ	12.000	12,500	(() (7)	1 427 (15	20
Casamance	セイカル	13,000	-13,500	662 679	1 43 / 615	38
Kédougou	セネガル	12,567	-12,217	802 415	1 390 852	167
Goudiri	セネガル	14,183	-12,716	746 512	1 569 203	59
Ranérou	セネガル	15,300	-13,966	611 011	1 691 772	33
Semme	セネガル	15,200	-12,950	720 225	1 681 480	40

表 3-2-5 確率雨量計算を実施した気象観測所の諸元



図 3-2-17 確率年間雨量分布(超過確率=豊水年、等値線の単位:mm/年)



図 3-2-18 確率年間雨量分布(非超過確率=渇水年、等値線の単位:mm/年)

(2) 可能蒸発散量の推計

本プロジェットでは、ソーンスウェイト法(Thornthwaite method)を用いて、可能蒸発散量の推 計を行なった。推計方法は、サポーティングブック(第6.2節)に示す。また、推計は、前掲(表 3-2-4)のティーセン分割を実施した気象観測所(気温の測定が行われていない Semme、Kidira、 Linguere、Dialakoto、Keniebaの5観測所を除く)で行った。

個々の観測地点の可能蒸発散の計算結果はサポーティングブック(第 6.2 節)に示すが、以下 にタンクモデル計算に用いたマタム観測所の計算結果の例を示す(表 3-2-6)。計算結果は、乾燥 地としての特徴をよく表している。

また、第 3.4 節に記すタンクモデル計算によって、この可能蒸発散量の値を用いて実蒸発散量 の計算を行っている。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7 月	8月	9月	10 月	11月	12 月
1988	5,84	13,08	17,58	18,62	20,50	19,63	19,39	17,16	16,21	17,48	14,76	7,65
1989	7,32	13,55	16,70	18,43	20,46	19,33	19,12	17,51	17,14	17,24	15,69	13,94
1990	6,04	14,14	18,06	18,77	20,50	19,75	19,39	18,14	17,14	17,90	15,10	9,20
1991	9,33	12,69	16,37	18,43	20,30	19,75	19,39	18,14	17,14	17,24	15,10	10,60
1992	8,83	13-55	16,01	18,23	20,18	19,75	19,39	18,14	17,66	18,08	14,41	13,10
1993	8,15	13-55	17,58	18,91	20,50	19,75	19,63	18,14	16,53	17,71	15,10	8,72
1994	4,87	13,08	17,30	17,18	20,39	19,63	19,12	16,78	16,53	17,24	15,40	9,65
1995	5,63	13,08	17,02	18,43	20,39	19,90	19,85	17,51	16,85	17,48	15,40	8,49
1996	13,94	14,46	17,02	18,43	20,50	19,75	19,39	17,51	17,41	17,71	15,10	8,83
1997	13,53	14,46	15,63	18,00	20,30	19,33	19,12	18,69	16,53	17,48	15,40	7,99
1998	7,70	14,75	17,30	19,10	20,46	19,90	19,39	17,51	16,53	17,48	14,76	9,04
1999	6,45	8,12	17,02	18,62	20,39	19,63	18,16	17,16	16,21	16,97	14,76	9,39
2000	10,64	12,69	17,83	19,02	20,39	19,14	18,16	16,38	16,53	16,05	14,04	9,23
2001	7,70	12,69	17,30	18,23	20,30	19,49	18,50	18,14	16,53	17,24	14,76	13,94
2002	7,41	13,08	16,70	17,75	20,39	19,49	19,39	18,14	17,14	17,48	14,76	13,10
2003	7,26	13-55	17,58	18,77	20,46	19,49	19,39	17,16	15,47	17,24	15,40	8,84
2004	7,36	13-55	16,70	18,77	20,39	19,63	18,82	17,51	16,53	17,48	15,40	13,10
2005	7,36	12,29	17,83	18,91	20,46	19,49	18,50	17,82	16,53	17,24	15,10	14,34
2006	6,82	12,69	17,30	18,91	20,30	19,75	19,85	17,51	16,85	18,08	15,10	7,65
2007	9,39	13,55	17,30	18,62	20,46	19,75	19,39	17,16	16,53	17,48	14,76	13,10

表 3-2-6 可能蒸発散量の推計事例(Matam 観測所、単位: cm/月)

3.2.7 既存河川流量観測データの収集・整理

(1) 調査目的

DGPRE が実施している河川流量観測結果をとりまとめることにより、本件調査地域内を流下す る河川の特性を把握するとともに、後記するタンクモデルの検証データとして河川流量の変化を 活用する。

(2) 調査結果

DGPREの河川流量観測所の位置を図 3-2-19 に、観測所の諸元を表 3-2-7 にとりまとめる。また、 各観測所の河川流量の変動の状況を図 3-2-20~図 3-2-23 に示す。

本件調査地域内の河川流量の中で特に特徴的なことは、セネガル川の上流から下流に向かっての河川流量の減少である。上流側の Bakel 観測所より下流側の Matam 観測所の方が河川流量が少

なくなり、さらに下流の Salde 観測所の方が河川流量が少なくなる。

なお、河川水位観測データは、第 3.4 節に記す地下水シミュレーションの境界条件(一般水頭 境界)設定の資料として使用した。

No ID 観測所名 UTM (X) UTM (Y) 標高 (m) 開始年 Bassin Gambie Rivière GAMBIE 開始年 Bassin Gambie </th <th></th> <th></th> <th colspan="3">位置</th> <th>観測</th>			位置			観測	
Bassin Gambie Rivière GAMBIE 1 Fass FASS 646 240 1 468 861 1 1972 2 Gouloumbou GOULOUMBOU 638 767 1 489 341 1 1953 3 Guénoto GUENOTO 628 114 1 498 270 - 1960 4 Kédougou KEDOUGOU 806 461 1 388 858 102 1970 5 Mako MAKO 786 878 1 421 677 75 1970 6 Simenti SIMENTI 684 350 1 441 435 10 1970 7 WassAmont WASSADOU-AMONT 676639 1 476 322 5 1970 8 WassAval WASSADOU-AVAL 675 558 1 475 983 4 1973 <i>Rivière KOULOUNTOU</i> V 9 Koulountou KOULOUNTOU AU GUE DU 664 665 1 413 654 13 1972 10 MissiraGoun MISSIRA GOUNAS 649 975 1 459 667 2 1970 <i>Rivière DI</i>	No	ID	観測所名	UTM (X)	UTM (Y)	標高 (m)	開始年
Rivière GAMBIE 1 Fass FASS 646 240 1 468 861 1 1972 2 Gouloumbou GOULOUMBOU 638 767 1 489 341 1 1953 3 Guénoto GUENOTO 628 114 1 498 270 - 1960 4 Kédougou KEDOUGOU 806 461 1 388 858 102 1970 5 Mako MAKO 786 878 1 421 677 75 1970 6 Simenti SIMENTI 684 350 1 441 435 10 1970 7 WassAmont WASSADOU-AMONT 675 558 1 475 983 4 1973 <i>Rivière KOULOUNTOU</i> 9 Koulountou KOULOUNTOU AU GUE DU 664 665 1 413 654 13 1972 10 MissiraGoun MISSIRA GOUNAS 649 975 1 459 667 2 1970 8 Wassand Massire Gounas 649 975 1 459 667 2 1970	Ba.	ssin Gambie					
1 Fass FASS 646 240 1 468 861 1 1972 2 Gouloumbou GOULOUMBOU 638 767 1 489 341 1 1953 3 Guénoto GUENOTO 628 114 1 498 270 - 1960 4 Kédougou KEDOUGOU 806 461 1 388 858 102 1970 5 Mako MAKO 786 878 1 421 677 75 1970 6 Simenti SIMENTI 684 350 1 441 435 10 1970 7 WassAmont WASSADOU-AMONT 676 639 1 476 322 5 1970 8 WassAval WASSADOU-AVAL 675 558 1 475 983 4 1973 <i>Rivière KOULOUNTOU</i> VOLOUNTOU AU GUE DU 664 665 1 413 654 13 1972 10 MissiraGoun MISSIRA GOUNAS 649 975 1 459 667 2 1970 <i>Rivière DIARHA</i> Image: Imag	Riv	vière GAMBIE					
2 Gouloumbou GOULOUMBOU 638 767 1 489 341 1 1953 3 Guénoto GUENOTO 628 114 1 498 270 - 1960 4 Kédougou KEDOUGOU 806 461 1 388 858 102 1970 5 Mako MAKO 786 878 1 421 677 75 1970 6 Simenti SIMENTI 684 350 1 441 435 10 1970 7 WassAmont WASSADOU-AMONT 676639 1 476 322 5 1970 8 WassAval WASSADOU-AVAL 675 558 1 475 983 4 1973 <i>Rivière KOULOUNTOU</i> V 644 665 1 413 654 13 1972 10 MissiraGoun MISSIRA GOUNAS 649 975 1 459 667 2 1970 <i>Rivière DIARHA</i> Image: Construction of the production of the produ	1	Fass	FASS	646 240	1 468 861	1	1972
3 Guénoto GUENOTO 628 114 1 498 270 - 1960 4 Kédougou KEDOUGOU 806 461 1 388 858 102 1970 5 Mako MAKO 786 878 1 421 677 75 1970 6 Simenti SIMENTI 684 350 1 441 435 10 1970 7 WassAmont WASSADOU-AMONT 676639 1 476 322 5 1970 8 WassAval WASSADOU-AVAL 675 558 1 475 983 4 1973 <i>Rivière KOULOUNTOU</i> 4 1413 654 13 1972 10 9 Koulountou KOULOUNTOU AU GUE DU 664 665 1 413 654 13 1972 10 MissiraGoun MISSIRA GOUNAS 649 975 1 459 667 2 1970 <i>Rivière DIARHA</i>	2	Gouloumbou	GOULOUMBOU	638 767	1 489 341	1	1953
4 Kédougou KEDOUGOU 806 461 1 388 858 102 1970 5 Mako MAKO 786 878 1 421 677 75 1970 6 Simenti SIMENTI 684 350 1 441 435 10 1970 7 WassAmont WASSADOU-AMONT 676639 1 476 322 5 1970 8 WassAval WASSADOU-AMONT 675 558 1 475 983 4 1973 <i>Rivière KOULOUNTOU</i> 9 Koulountou KOULOUNTOU AU GUE DU 664 665 1 413 654 13 1972 10 MissiraGoun MISSIRA GOUNAS 649 975 1 459 667 2 1970 <i>Rivière DIARHA</i> Image: Construct of the section of the	3	Guénoto	GUENOTO	628 114	1 498 270	_	1960
5 Mako MAKO 786 878 1 421 677 75 1970 6 Simenti SIMENTI 684 350 1 441 435 10 1970 7 WassAmont WASSADOU-AMONT 676639 1 476 322 5 1970 8 WassAval WASSADOU-AVAL 675 558 1 475 983 4 1973 <i>Rivière KOULOUNTOU</i> 9 Koulountou KOULOUNTOU AU GUE DU 664 665 1 413 654 13 1972 10 MissiraGoun MISSIRA GOUNAS 649 975 1 459 667 2 1970 <i>Rivière DIARHA</i> Image: Construct of the second sec	4	Kédougou	KEDOUGOU	806 461	1 388 858	102	1970
6 Simenti SIMENTI 684 350 1 441 435 10 1970 7 WassAmont WASSADOU-AMONT 676639 1 476 322 5 1970 8 WassAval WASSADOU-AVAL 675 558 1 475 983 4 1973 <i>Rivière KOULOUNTOU</i> 9 Koulountou KOULOUNTOU AU GUE DU 664 665 1 413 654 13 1972 10 MissiraGoun MISSIRA GOUNAS 649 975 1 459 667 2 1970 <i>Rivière DIARHA</i>	5	Mako	МАКО	786 878	1 421 677	75	1970
7 WassAmont WASSADOU-AMONT 676639 1 476 322 5 1970 8 WassAval WASSADOU-AVAL 675 558 1 475 983 4 1973 <i>Rivière KOULOUNTOU</i> 9 Koulountou KOULOUNTOU AU GUE DU 664 665 1 413 654 13 1972 10 MissiraGoun MISSIRA GOUNAS 649 975 1 459 667 2 1970 <i>Rivière DIARHA</i> Internet for the second seco	6	Simenti	SIMENTI	684 350	1 441 435	10	1970
8 WassAval WASSADOU-AVAL 675 558 1 475 983 4 1973 Rivière KOULOUNTOU 675 558 1 475 983 4 1973 9 Koulountou KOULOUNTOU AU GUE DU 664 665 1 413 654 13 1972 10 MissiraGoun MISSIRA GOUNAS 649 975 1 459 667 2 1970 Rivière DIARHA Image: Construct of the second seco	7	WassAmont	WASSADOU-AMONT	676639	1 476 322	5	1970
Rivière KOULOUNTOU 9 Koulountou KOULOUNTOU AU GUE DU 664 665 1 413 654 13 1972 10 MissiraGoun MISSIRA GOUNAS 649 975 1 459 667 2 1970 Rivière DIARHA Image: Construct of the second se	8	WassAval	WASSADOU-AVAL	675 558	1 475 983	4	1973
9 Koulountou KOULOUNTOU AU GUE DU 664 665 1 413 654 13 1972 10 MissiraGoun MISSIRA GOUNAS 649 975 1 459 667 2 1970 <i>Rivière DIARHA</i>	Riv	vière KOULOUNTOU					
10 MissiraGoun MISSIRA GOUNAS 649 975 1 459 667 2 1970 Rivière DIARHA	9	Koulountou	KOULOUNTOU AU GUE DU	664 665	1 413 654	13	1972
Rivière DIARHA	10	MissiraGoun	MISSIRA GOUNAS	649 975	1 459 667	2	1970
	Riv	vière DIARHA			1		
11 Diarha DIARHA AU PONT-ROUTIER 742 140 1 395 435 47 1972	11	Diarha	DIARHA AU PONT-ROUTIER	742 140	1 395 435	47	1972
Rivière TIOKOYE	Riv	vière TIOKOYE					
12 Tiokove TIOKOYE AU PONT 767 514 1 390 426 56 1971	12	Tiokove	TIOKOYE AU PONT	767 514	1 390 426	56	1971
Rivière SILING	Riv	vière SILING					
13 Sili SILI AU PONT ROUTIER 797 116 1 387 984 112 1974	13	Sili	SILI AU PONT ROUTIER	797 116	1 387 984	112	1974
Rivière DIAGUIRI	Riv	vière DIAGUIRI					
14 Diaguiri DIAGUIRI AU PONT ROUTIER 816 259 1 397 844 94 1974	14	Diaguiri	DIAGUIRI AU PONT ROUTIER	816 259	1 397 844	94	1974
Rivière NIOKOLO KOBA	Riv	ière NIOKOLO KOB	4				
15 NiokoloKoba NIOKOLO KOBA AU PONT 747 125 1 446 287 48 1970	15	NiokoloKoba	NIOKOLO KOBA AU PONT	747 125	1 446 287	48	1970
Rivière NIERI KO	Riv	vière NIERI KO				-	
16 Goumbevell GOUMBEYEL 697 265 1 514 307 – 1977	16	Goumbevell	GOUMBEYEL	697 265	1 514 307	_	1977
17 NiériKo NIERI KO AU PONT 678 148 1 477 406 6 1970	17	NiériKo	NIERI KO AU PONT	678 148	1 477 406	6	1970
Rivière SANDOUGOU	Riv	vière SANDOUGOU			,,		
18 Maka MAKA 575.703 1.510.964 4 1970	18	Maka	МАКА	575 703	1 510 964	4	1970
10 Sintion Sintian Sin	19	SintiouMalem	SINTIOU MALEM	617 919	1 527 192	6	1973
Rivière NIAOULE	Riv	vière NIAOULE		01, 717	102/1/2	ů	1775
20 NiaouleTanou NIAOULE TANOU 642 547 1 490 965 9 1972	20	NiaouleTanou	NIAQULE TANQU	642 547	1 490 965	9	1972
Rivière KOUSSANAR	Riv	ière KOUSSANAR		012011	1 190 900		1772
21 Koussanar KOUSSANAR 598 980 1 533 107 9 1973	21	Koussanar	KOUSSANAR	598 980	1 533 107	9	1973
Rivière MAMACOUNDA	Riv	vière MAMACOUNDA	Recountrie	570,700	1000107	,	1775
22 Dialakoro DIALAKORO 633.040 1.744.439 – 1989	22	Dialakoro	DIALAKORO	633 040	1 744 439	_	1989
Rassin Sénéral	Ra	ssin Sénégal	Difficinto	055 010	1711135		1909
Rivière Sénégal	Rin	vière Sénégal					
23 Bakel BAKEL 77/250 1.6/8.826 11 100/	22	Bakel	BAKEI	774 350	1 6/8 836	11	1004
23 Darrel 7/4 330 1 040 030 11 1904 24 Diorbivol DIORBIVOI 637 307 1 782 260 2 1029	23	Diorbivol	DIORBIVOI	637 307	1 782 260	211	1904
24 Dioritivol Diordivol 05/30/ 1/62/200 2 1938 25 Kapdi KAEDI 660/206 1/764/264 2 1002	24	Kaadi	KAEDI	660.204	1 704 264	2	1936
2.3 Racui RAEDI 000/370 1/64/204 5 1903 26 Koungani KOUNGANI 770/010 1/64/515 12 1055	23	Katul	KAEDI	770.910	1 641 515	12	1905
20 Roungain ROUNDAINI 7/9819 1.041.515 12 1955 27 Matam MATAM 697.592 1.720.004 6 1.002	20	Matam	MATAM	607 507	1 720 004	12	1900
27 Iviatani Iviatani Iviatani Iviatani 00/303 1/30/994 0 1903 28 Naujaujane N/GUIGUILONE 676.615 1.762.256 4 1.051	21	Nguiguilone		676 615	1 762 256	4	1903

表 3-2-7 DGPRE 河川流量観測所の諸元

F/R メインレポート

			位置		観測			
No	ID	観測所名	UTM (X)	UTM (Y)	標高 (m)	開始年		
29	Ouaounde	OUAOUNDE	729 198	1 687 100	8	1951		
Rivière Falémé								
30	Kidira	KIDIRA	800 156	1 599 316	19	1930		
31	Gourbassi	GOURBASSI	864 717	1 483 856	—	1954		
Riv	Rivière Diamel							
32	Cuv_Mbakhn	Cuvette de Mbakhna	668 643	1 754 559	—	1997		
33	Cuv_Nabadji	Cuvette de Nabdji (Référence	675 495	1 741 244	—	1997		
Riv	vière Tourimé							
34	Cuv_Tuabou	Cuvette de Tuabou (Lothiandé	771 800	1 655 328	—	2000		
35	Cuv_Yelinga	Cuvette de Yelingara (Mani	766 256	1 660 203	_	2000		
Riv	vière Inconnue							
36	Cuv_SinFiss	Retenue collinaire de Sintiou	782 208	1 593 137	-	2000		



図 3-2-19 DGPRE 河川流量観測所位置図



図 3-2-21 河川流量変動図 (ガンビア川)



図 3-2-22 河川流量変動図 (ガンビア川支流-1)



Rivière Niaoule, Rivière Koussanar: Bassin Gambie

図 3-2-23 河川流量変動図 (ガンビア川支流-2)

(3) 使用コード

地下水流動シミュレーション解析には、MODFLOW コードを使用した。MODFLOW コードは 世界的に広く利用されている解析コードであり、入出力用ソフトも多数開発されている。本プロ ジェクトでは、統合ソフト「Processing Modflow Pro」を用いて解析を行った。

MODFLOW は、米国地質調査所で開発された三次元地下水流動解析コードであり、偏微分方程 式で表される三次元地下水流動を差分法で解く。

(4) 使用データ

地下水モデル構築に必要な項目と、本プロジェクトで使用データを表 3-4-7 に示す。

	項目	使用データ
水理地質構	转造	DHRやDGPRE等が保有する井戸掘削記録をもとに井戸柱状図を整理すると ともに既存地質・物理探査報告を用いて、水理地質構造解析を行った。さら
水理地質定	至数	DHR や DGPRE 等が保有する井戸掘削記録をもとに、透水量係数(透水係数) 分布を推定した。貯留係数、有効空隙率、比浸出量の初期値は、帯水層の層 相から推定される一般値を用いた。
地下水かん養量		乾燥地型(非湿潤地型)タンクモデルを作成して、1988 年から 2007 年までの 20 年間の地下水かん養量を推定した。タンクモデルに使用したデータは下記のとおりである(第3.4.2 節参照)。
	気象(降水量·気温)	Météorologie Nationale 等の 1988 年から 2007 年までの観測データを使用した。
	検証データ	DGPRE の河川流量観測データを検証データとした。
地下水揚水	〈量	既存給水施設の稼働状況と 2002 年の人口統計データを基に揚水量を推定した(第3.4.3 節参照)。
初期水頭		検証期間(1988年1月-2007年12月)の前に長期非定常計算(準定常計算) を行い、検証非定常計算開始時の初期水頭とした。
境界条件		河川流量観測結果、河川近傍の地下水位観測結果を基に、境界条件を設定した。
モデルの検	貧証データ	DGPRE の地下水位観測データを検証データとした。

表 3-4-7	地下7	kモデル	~に使用	したデー	ータ
				/	

(5) モデルの構造

広域三次元モデルのモデル平面グリッドは、図 3-4-10 に示すように調査地域の堆積層地域全体 をカバーするように設定した。モデルグリッドは世界測地系 WGS84 の UTM 座標系第 28 帯を基 準として、各グリッドの平面サイズは 1km×1km とした(X 方向: 301 グリッド、Y 方向: 367 グ リッド)。

広域三次元モデルの断面構造は、深度方向においてもタンバクンダ・マタム両州内の地下水盆 全体を立体的にカバーできるような構造とし、地下水盆基底部(Ma層下面)までの水文地質条件 を反映できるモデルを作成した。帯水層としては以下に記す5層の区分が可能であり、この5層 と基盤岩を含めた6層構造のモデル構造とした。

- Quaternaire 帯水層(Q層)
- Continental terminal / Oligo-Miocène 帯水層 (Co 層)
- Eocene 帯水層(Eo 層)
- Paléocène 帯水層(Pa 層)

- Maastrichtien 帯水層(Ma 層)
- 基盤岩

また、シミュレーションモデルでは、水文地質条件を考慮した境界条件の設定が必要である。 本プロジェクトでは閉鎖境界と一般水頭境界を設定しており、詳細はサポーティングブック(第 6.3.1 節)に記す。



図 3-4-10 シミュレーション解析範囲

- (6) 内挿検定結果
- 1) 初期水頭

広域三次元モデルの検証は、1988年1月から2007年12月までの月別時系列データを入力して 非定常計算により実施したが、検証期間の非定常計算の前に長期非定常計算(準定常計算)を行 い、検証非定常計算開始時の初期水頭とした。

本プロジェクトで実施した長期非定常計算(準定常計算)の方法は、以下のとおりである。

- ① 帯水層ごとに掘削時の静水位をもとに地下水位分布を設定
- ② 1989 年から 1992 年の5 年間の条件で 10 サイクル (50 年間)の計算を実施
- ③ ②の最終ステップの計算水頭を検証非定常計算の初期水頭として入力
- 2) 計算水頭変動と実測水頭変動との比較

	114-7-1-12	
表届地質		テンシャル
<u></u> 公信地員	高	可能
カンブリア系堆積岩	 断層・破砕帯を伴う粗粒玄武岩 	• 断層 · 破砕带分布域
	の分布	• 石英脈分布域
	 泥質岩分布域の破砕帯密集域 	 Kidira-Bakel 周辺では、本層下
	• (石英脈分布域)	位の変成岩類が主要な帯水層と
		なる
カンブリア紀火山岩(安山岩)		 断層・破砕帯分布域
カンブリア紀変成岩	 断層・破砕帯を伴う粗粒玄武岩 	• 断層 · 破砕带分布域
(片岩、珪岩)	の分布	• 石英脈分布域
	• (石英脈分布域)	
粗粒玄武岩	 断層・破砕帯分布域 	• 小規模破砕帯分布域
Birrimien 系	 断層・破砕帯を伴う粗粒玄武岩 	 断層・破砕帯分布域
(片岩、珪岩、グレイワッケ、礫岩)	の分布	• 石英脈分布域
	• (石英脈分布域)	
Cipolins (結晶質石灰岩)		 断層・破砕帯分布域
玄武岩類	 断層・破砕帯分布域 	• 小規模破砕帯分布域
安山岩類		 断層・破砕帯分布域
角閃岩		 断層・破砕帯分布域
花崗岩類(下記以外)		 断層・破砕帯分布域
		• 石英脈分布域
		• ペグマタイト脈分布域
花崗岩類(造山時火成活動)	 粗粒質花崗岩分布域の深層風化 	 断層・破砕帯分布域
	 粗粒質花崗岩分布域の貫入岩分 	• 石英脈分布域
	布	• ペグマタイト脈分布域
	• 塩基性岩類の貫入域	

表 3-4-11 基盤岩類の分類と地下水ポテンシャル